

# うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！

84号（2024年2月1日）  
福津市社会福祉協議会内

## ◇ 市役所、社協、包括からのお知らせ

### ◇ 会からの連絡事項

- (1) 三愛の傾聴活動を、11月から開始しました。火曜日、金曜日、13:30～1時間。3名までです。水光苑の活動は、施設側の要請により原則第2週、第4週のみに行いました。水と光の園の活動、2月以降当面中止します。
- (2) 定例会出席者は、スケジュール表に活動日を記入して下さい。
- (3) 傾聴カフェ、2月は2日9名参加でした。3月1日、4月5日、5月10日にします。

### ◇ 1月定例会の話題

- (1) 総会資料（4月22日（月））の概要を配布しました。
- (2) きずなフェスティバル：2月18日の案内をしました。
- (3) 在宅傾聴の依頼がありました。
  - ① 男性、94歳、東福間の在宅傾聴は、11月から開始しました。
  - ② 津屋崎在住の女性、在宅傾聴の依頼がありました。現在調整中です。

### ◇ こんな活動をしました

- ① 家紋に詳しい女性の方で、市からの100歳の祝いの品を自室から持参され皆で祝福しました。
- ② 家族の写真集を見ておられ、舞踊の晴れ姿、子供、孫、ひ孫さん等楽しかった場面を見ながら話題が和みました。
- ③ ボランティアは何をやっているの？等の質問があり、傾聴の重要性を感じました。
- ④ テレビを一緒に見ながら、子供さんの話をしました。
- ⑤ 施設にお世話になっているとの感謝の言葉を発せられその方の人柄を感じました。
- ⑥ 可能な限りその方の名前を呼びながら話しをすることの重要性を感じました。
- ⑦ 以前は地域でボランティア活動をやったこと、最近は体調管理に気を遣っていることなど丁寧にお話し頂きました。参考になりました。
- ⑧ テレビの懐メロ歌謡曲を見ながら、歌ったり、お話をしたりしました。
- ⑨ 90歳の方でご主人と一緒に入所、ご主人は4年前に他界された。年金暮らしで満足とのこと。
- ⑩ 4名の方とお話ししました。短い時間でしたが皆さんよく話しして頂きあっという間の時間でした。
- ⑪ グループ討議で、ここで話が出るのが楽しみとのこと。
- ⑫ 夫を休ませるため、人と交わるのが苦手でしたので躊躇しながらここに来たが、今では楽しく

ここで生活している。

- ⑬ 98歳の女性。計算、ドリル、塗り絵と忙しそうでしたが、ありし日のことなどを話しもして頂きました。
- ⑭ 落ち着いて話しの中に、その人の立派な人柄が偲ばれました。

## ◇ 会員の広場

### 箸文化と字

山崎 正弘 会員

会食の場で人の持ち方を拝見するが、良くそれで物を掴めるねとその方の持ち方にと感心することがあります。どのように持っても、その方が自己の流儀で食事を楽しむ事が出来る限り、他人がお節介する必要はありません。

正しい持ち方の一例は、下図の通りですがこれを見て自分の持ち方が正しいので一安心します。記憶にはないが、母が正しく躰けてくれたのでしょう。大人になってからの矯正はなかなか難しいようです。

箸を使って食事をする我が国において、箸は文化になっていて、正しく使うことは一種の礼儀、嗜みにさえなっています。以前、料亭で丸い塗り箸を使って上手にうどんを鍋に入れていた女性の方の箸裁きを見て、その方の教養を感じ、店の躰の確かさを測ることが出来ました。一方、あるときレストランで、帽子をかぶったままで食事をしている女性の手元を見ると、箸の握り方もそれなりの流儀で、レベルの程度を推し量りました。

箸の握り方と鉛筆の握り方とは共通するところがあり、字を書くときは正しく鉛筆を握る必要があります。だから、字の練習をするときには、先ず自分の箸の持ち方を見てから始めることが必要になるようです。平安の昔、恋心の発露は、和歌でそのやり取りを行っていました。女性も男性も「歌も字も下手ね」と言われぬように何れにも励み、上手な字、和歌は憧れだったのでしょう。

スマホでやりとりする現在、和歌はもとより字を書く機会は少なくなりましたが、箸同様に嗜みとしての上手な字への書く練習は、あっても良いのではなかろうと思います。



なお、うさぎの耳は、次号（85号）までとし、廃刊にします。  
ご意見、思い出などがありましたら、お願いします。